

事例：総務省を騙った詐欺事件（21年2月 鹿児島県大隅地域）

平成21年2月、鹿児島県大隅地域に住む高齢者宅を男が突然訪れ、「総務省推進事務局」と書かれた名刺を渡し、「地上デジタル放送を観られるようにする。」と言って家に上がり込み、テレビを点検し工事代金を請求、高齢者は29,800円を支払った。

この高齢者宅は昨年から地上デジタル放送を視聴できる状況にあったため、必要のない工事であり、家族から鹿児島県消費生活センターに連絡があり、センターから当局へ通報があったことから発覚した。

事例：総務省を騙った詐欺事件（21年2月 熊本県玉名市）

平成21年2月、玉名市に住む高齢者宅を男が訪問し、「総務省推進事務局指定」と書かれた名刺を見せながら、「テレビを診せてほしい。」と言って上がり込み、テレビやビデオ等を診た上で、総務省地上デジタル放送協会推薦事務局を連絡先にした「地上波デジタル放送早期着工工事及び返還金申込書」を渡して工事代金を請求し、翌日に代金を受取ろうとしたもの。

高齢者の家族が不審に思い、玉名市役所に相談し、玉名市役所から熊本県テレビ受信者支援センターに連絡があり、同センターから当局へ通報があったことから発覚した。

事例：NHKを騙った詐欺事件（20年11月 熊本市）

熊本市に住む高齢者宅に平成20年11月、NHKの職員を名乗る者が、「地デジに変わるが何か準備はしていますか。」と訪問をしてきた。高齢者は不審に思い、ドア越しに対応。「いつもお世話になっている電気屋がある。」と言ったところ、そのまま何も言わずに立ち去った。

同日、高齢者はNHKと熊本市消費者センターに電話をし、消費者センターから当局へ情報提供があり、当局からNHKへ確認をしたところ、職員が訪問している事実はないとのことから、詐欺の疑いがあることが判明した。

事例：電気工事を騙った詐欺事件（19年1月 中津市）

平成19年1月、大分県中津市で一人暮らしの高齢者宅を30代とみられる男二人が訪れ「地上デジタル放送に伴い各家庭の電圧の検査に廻っている」と説明し、「電圧容量が不足するので工事が必要」と工事代金を請求。被害者は前金として10万円を支払ったが、約束の日時になっても工事は行われず、騙されたことに気付いた。